

## 自己点検・評価シート

### 基準4 教育課程・学習成果

	評価項目	評価の視点		評価者の観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	○課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針の適切な設定(授与する学位ごと)及び公表	1	学位授与方針は、原則として、授与する学位ごとに設定されているか。	薬学科では、学位授与の方針を定めている。	なし	なし
			2	上記の方針は、修得すべき知識、技能、態度等の学習成果が明確に示され、授与する学位にふさわしい内容となっているか。	薬学科では、卒業(学士課程修了)までに学生が修得すべき知識・理解、技能表現、思考・判断、態度・志向性の4項目に分類して設定している。	なし	なし
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	○下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定(授与する学位ごと)及び公表 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等 ○教育課程の編成・実施方針と学位授与方針との適切な関連性	5	教育課程の編成・実施方針は、原則として、授与する学位ごとに設定されているか。	薬学科では、教育課程編成・実施の方針を定めている。	なし	なし
			6	上記の方針は、教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方が明確に示されているか。	薬学科では、上記の方針について、教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方を明確に示したカリキュラムツリーを作成し、公表している。	なし	なし
			7	上記の方針は、学位授与方針に整合しているか。	薬学科では、上記の方針と学位授与の方針の整合について明確に示したカリキュラムマップを作成し、公表している	なし	なし
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	○各学部・研究科において適切に教育課程を編成するための措置 ・教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性 ・教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮 ・単位制度の趣旨に沿った単位の設定 ・個々の授業科目の内容及び方法 ・授業科目の位置づけ(必修、選択等) ・各学位課程にふさわしい教育内容の設定 ・初年次教育、高大接続への配慮(【学士】) ・教養教育と専門教育の適切な配置(【学士】) ・コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等(【修士】【博士】) ・教育課程の編成における全学内部質保証推進組織等の関わり ○学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育の適切な実施	10	全学的に見て、学部・研究科の教育課程は、どのように編成されているか。 ※ その根拠として、下記の実際の状況も確認する。 ・教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性 ・当該学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時の学習成果と、各授業科目との関係の明確性 ・専門分野の学問の体系を考慮した教育課程編成 ・学習の順次性に配慮した各授業科目の年次・学期配当	薬学科では、学士課程の教育研究上の目的に基づいて定められた学位授与の方針に到達すべく設定された教育課程編成・実施の方針に基づき、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方を明確に示したカリキュラムツリーおよびカリキュラムマップを明示しており、これに従って各科目を配当している。	なし	

基準4 教育課程・学習成果

	評価項目	評価の視点		評価者の観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	<p>○各学部・研究科において授業内外の学生の学習を活性化し効果的に教育を行うための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るための措置(1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定等)</li> <li>・シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)及び実施(授業内容とシラバスとの整合性の確保等)</li> <li>・学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法</li> <li>・適切な履修指導の実施</li> <li>・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数(【学士】)</li> <li>・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施(【修士】【博士】)</li> <li>・各学部・研究科における教育の実施にあたっての全学内部質保証推進組織等の関わり</li> </ul>	12	<p>全学的に見て、学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための措置として、どのような方法が取られているか。</p> <p>※ その根拠として、下記の実際の状況も確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成・実施方針と教育方法の整合性</li> <li>・当該学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果に応じた授業形態、授業方法の採用とその実施</li> <li>・1授業あたりの適切な学生数の設定と運用</li> <li>・単位の実質化(単位制度の趣旨に沿った学習時間、学習内容の確保)を図る措置</li> <li>・シラバスの作成と活用</li> <li>・履修指導</li> </ul>	<p>薬学科では、履修便覧で学士課程の特性に応じた科目・単位を示し、科目目的・到達目標・授業内容・授業計画・授業方法・アクティブラーニングの形態・準備学習・評価方法・課題に対するフィードバックの方法・教科書・参考書・地域との連携・担当教員への連絡方法・受講上の注意・学位授与の方針との関連・実務経験と授業との関連を明示したシラバスを公開し、シラバスに沿った授業を行っている。また、履修便覧には学士の学位授与の手引きとして、学位論文審査の要件や手順を示し、それに基づいた研究指導がなされている。また、2020年度前期においては、COVID-19への対応として本学感染症対策委員会の指示に従い、一部の実習科目を除いた大部分の授業を遠隔で実施し、授業動画の配信、課題の提出・フィードバックにより、授業実施・成績評価を行った。2020年度後期および2021年度は本学感染症対策委員会の許可を得て、十分な感染症対策を行ったうえで、可能な限りの対面授業を実施した上で遠隔授業とのハイブリッドとした。なお、2021年度は、とりわけ新入生である1年生の必修科目と卒業学年である6年生科目は対面授業を取り入れた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を万全とした上で、可能な限り対面での授業を実施する方針である。</p>	令和4年度
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	<p>○成績評価及び単位認定を適切に行うための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制度の趣旨に基づく単位認定</li> <li>・既修得単位等の適切な認定</li> <li>・成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置</li> <li>・卒業・修了要件の明示</li> <li>・成績評価及び単位認定に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり</li> </ul> <p>○学位授与を適切に行うための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学位論文審査がある場合、学位論文審査基準の明示・公表</li> <li>・学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するための措置</li> <li>・学位授与に係る責任体制及び手続の明示</li> <li>・適切な学位授与</li> <li>・学位授与に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり</li> </ul>	14	<p>全学的に見て、学部・研究科における成績評価、単位認定及び学位授与は、どのように行われているか。</p> <p>※ その根拠として、下記の実際の状況も確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳正かつ適正な成績評価及び単位認定の実施</li> <li>・既修得単位等の適切な認定</li> <li>・学位授与における実施手続及び体制の明確性</li> </ul>	<p>薬学科では、履修便覧に開講科目および履修方法の要件を明示しており、これら各開講科目ごとに設定された科目目的・到達目標に従い、学習成果の測定に基づき、シラバスに示された評価方法に従い単位認定がされている。履修便覧には、学士の学位論文審査の要件、および学士の学位論文審査における審査項目を明示しており、これに基づき適切に学位授与が行われている。既修得単位については、教務委員によりシラバスの照会を科目担当者や共通教育担当部署に行った上で学科会議に諮るなどして適切に処理している。</p>	なし	なし
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	<p>○各学位課程の分野の特性に応じた学習成果を測定するための指標の適切な設定(特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)</p> <p>○学位授与方針に明示した学生の学習成果を把握及び評価するための方法の開発</p> <p>《学習成果の測定方法例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント・テスト</li> <li>・ルーブリックを活用した測定</li> <li>・学習成果の測定を目的とした学生調査</li> <li>・卒業生、就職先への意見聴取</li> </ul> <p>○学習成果の把握及び評価の取り組みに対する全学内部質保証推進組織等の関わり</p>	16	<p>全学的に見て、学位授与方針に示した学生の学習成果は、どのような方法で測定されているか。</p> <p>※その根拠として、下記の実際の状況も確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野の性質、学生に求める学習成果の内容に応じた把握・評価の方法や指標の導入と運用</li> <li>・当該職業を担うのに必要な能力の修得状況の把握(特に専門的な職業との関連性が強い教育課程の場合)</li> </ul>	<p>薬学科では、履修便覧に示した学士の学位論文審査の要件、および学士の学位論文審査における審査項目に基づいて学士の学位論文を作成し、学士の学位論文に基づいた内容を発表する卒業論文発表会を実施している。なお、総括的な評価となる卒業論文発表会では、講師以上の学科教員が全員出席した上で口頭・示説で実施した成果発表を評価している。質疑に対する応答能力も評価に加味している。</p>	なし	なし

基準4 教育課程・学習成果

	評価項目	評価の視点		評価者の観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。 また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	○適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価・学習成果の測定結果の適切な活用 ○点検・評価結果に基づく改善・向上	18	教育課程及びその内容、方法の自己点検・評価は、どのように行われているか(基準、体制、方法、プロセス等)。	薬学科では、カリキュラム検討委員会、学部自己評価委員会の他に、運営会議、学科会議を設置し、学部・学科教育における教育・研究に関する様々な事項についての検討を定期的(委員会によっては月2回開催)に行っている。	なし	なし
			19	上記の自己点検・評価結果に基づき、教育課程及びその内容、方法の改善・向上に向けた取り組みは、どのように行われているか。	薬学科では、学科会議メンバーならびに運営会議、あるいは自己評価委員会、さらには学生組織である幹事懇談会や卒業学年からのフィードバックを受けて、カリキュラム検討委員会が毎月、開催されている。これらに、学部入試・広報センター、学部国際交流委員会、学外連携支援部門の各組織と連携し、予算も考慮しながら薬学科の改善・向上に向けた取り組みを不断に実施している。	自己点検・評価結果に基づき、教育課程及びその内容、方法の改善・向上に向け検討を行う必要がある。	令和4年度
			20	上記において、学習成果の測定結果は、教育課程及びその内容、方法の改善にどのように活用されているか。	薬学科では、学部自己評価委員会からのフィードバックを受けて、カリキュラム検討委員会、運営会議において、学習成果の測定結果に基づき、学位授与の方針、履修便覧、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針、カリキュラムツリー、カリキュラムマップ、履修便覧などの見直しを適宜行っている。	必要に応じて学士の学位授与の方針、履修便覧、教育課程編成・実施の方針、カリキュラムツリー、カリキュラムマップ、履修便覧などの見直しを行う。	令和4年度

## 自己点検・評価シート

### 基準4 教育課程・学習成果

	評価項目	評価の視点		評価者の観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	○課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針の適切な設定(授与する学位ごと)及び公表	1	学位授与方針は、原則として、授与する学位ごとに設定されているか。	健康生命薬科学科では、学位授与の方針を定めている。		
			2	上記の方針は、修得すべき知識、技能、態度等の学習成果が明確に示され、授与する学位にふさわしい内容となっているか。	健康生命薬科学科では、卒業(学士課程修了)までに学生が修得すべき知識、技能、態度の4項目に分類してそれぞれ設定している。		
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	○下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定(授与する学位ごと)及び公表 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等 ○教育課程の編成・実施方針と学位授与方針との適切な連関性	5	教育課程の編成・実施方針は、原則として、授与する学位ごとに設定されているか。	健康生命薬科学科では、学士課程の教育課程編成・実施の方針をそれぞれ定めている。		
			6	上記の方針は、教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方が明確に示されているか。	健康生命薬科学科では、上記の方針について、教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方を明確に示したカリキュラムツリーを作成し、公表している。	現在、教育課程については、新旧の2つの教育課程が進行しているが、新旧それぞれについて上記の方針ならびに学位授与の方針の整合について検討し、明確に示したカリキュラムマップを作成し、公表している。	令和4年度
			7	上記の方針は、学位授与方針に整合しているか。	健康生命薬科学科では、上記の通り、新旧の2つの方針と学位授与の方針の整合について明確に示したカリキュラムマップを作成し、公表している。		
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	○各学部・研究科において適切に教育課程を編成するための措置 ・教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性 ・教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮 ・単位制度の趣旨に沿った単位の設定 ・個々の授業科目の内容及び方法 ・授業科目の位置づけ(必修、選択等) ・各学位課程にふさわしい教育内容の設定 ・初年次教育、高大接続への配慮(【学士】) ・教養教育と専門教育の適切な配置(【学士】) ・コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等(【修士】【博士】) ・教育課程の編成における全学内部質保証推進組織等の関わり ○学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育の適切な実施	10	全学的に見て、学部・研究科の教育課程は、どのように編成されているか。 ※ その根拠として、下記の実際の状況も確認する。 ・教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性 ・当該学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時の学習成果と、各授業科目との関係の明確性 ・専門分野の学問の体系を考慮した教育課程編成 ・学習の順次性に配慮した各授業科目の年次・学期配当	健康生命薬科学科では、学士課程の教育ならびに研究上の目的に基づいて定められた学位授与の方針に到達すべく設定された教育課程編成・実施の方針に基づき、学士課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方を明確に示したカリキュラムツリーおよびカリキュラムマップに示すとおり、各科目を配当している。必修ならびに選択科目については、大学当局によるカリキュラムのスリム化の指示のもと91科目を上限として、必修と選択科目を配当している。これらの必修/選択比率と科目については、『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準(薬学分野)』を参考にして編成している。順次性については、下級学年では基礎系科目を、学年進行に従い応用科目を配当しているなど編成には考慮した。改訂カリキュラムでは、コースワークとリサーチワーク科目は大胆に見直し、リサーチワーク科目を大胆に時間増加を図っている。これは、修士課程への進学を見据えている。さらに、学生の社会的及び職業的自立を促進するために必要な能力や動機づけをスパイラルモデルにより構築している。教養教育については、高学年での履修を意図してカリキュラムを編成している。	大学、学部、学科が掲げる教育目標を達成しているかという観点に立ち、改訂カリキュラムの教育効果と、時宜時流に沿いながら、社会(就職先企業など)が期待し要求するような卒業生を輩出できているのかについて検討に着手している。今後、自己評価委員会、運営委員会、ならびに学科会議メンバー、学生、既卒業生、就職先からの評価を得て、教育課程の点検、見直しを行う(予定)。	令和4年度

④	<p>学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。</p>	<p>○各学部・研究科において授業内外の学生の学習を活性化し効果的に教育を行うための措置          ・各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るための措置(1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定等)          ・シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)及び実施(授業内容とシラバスとの整合性の確保等)          ・学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法          ・適切な履修指導の実施          ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数(【学士】)          ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施(【修士】【博士】)          ・各学部・研究科における教育の実施にあたっての全学内部質保証推進組織等の関わり</p>	12	<p>全学的に見て、学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための措置として、どのような方法が取られているか。          ※ その根拠として、下記の実際の状況も確認する。          ・教育課程の編成・実施方針と教育方法の整合性          ・当該学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果に応じた授業形態、授業方法の採用とその実施          ・1授業当たりの適切な学生数の設定と運用          ・単位の実質化(単位制度の趣旨に沿った学習時間、学習内容の確保)を図る措置          ・シラバスの作成と活用          ・履修指導</p>	<p>健康生命薬科学科では、履修便覧で学士課程の教育の特性に応じた科目・単位を示し、科目目的・到達目標・授業内容・授業計画・授業方法・アクティブラーニングの形態・準備学習・評価方法・課題に対するフィードバックの方法・教科書・参考書・地域との連携・担当教員への連絡方法・受講上の注意・卒業(修了)認定・学位授与の方針との関連との関連・実務経験と授業との関連を明示したシラバスを公開し、シラバスに沿った授業を行っている。また、履修便覧には学士の学位授与(卒業認定)の手引きとして、卒業の要件や手順を示し、それに基づいた履修指導がなされている。また、2020年度前期より、COVID-19への対応として本学感染症対策委員会の指示に従い、全授業を遠隔で実施し、授業動画の配信、課題の提出・フィードバックにより、授業実施・成績評価を行った。2020年度後期および2021年度は対象学生を少人数にグループ化した上で、本学感染症対策委員会の許可を得た上で、十分な感染症対策を行いつつ、遠隔では実施出来ない要素に対応した講義科目、実習科目、演習科目について、対面での授業や実習を限定的に実施した。これらには、学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うため大学の学習管理システム(Learning Management System, LMS)を利用し、info@MUSESならびに、急速、Google for education、Zoomを用いて実施した。また、これらは受講し易いようにビデオ収録した上で反復して学習に活用できるようなオンデマンドシステムにしている。</p>	<p>これらLMSは、今後、招聘が困難な演者や公開が困難である実験・実習をビデオ収録して公開するなど、教材や授業方法の多角化として更に応用範囲を広げる予定である。一方、討議形式の際には多様な意見交換が出にくいことは改善点である。今後、新たなチュートリアル方法を取り入れて活性化することを検討している(予定)。</p>	令和4年度
⑤	<p>成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。</p>	<p>○成績評価及び単位認定を適切に行うための措置          ・単位制度の趣旨に基づく単位認定          ・既修得単位等の適切な認定          ・成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置          ・卒業・修了要件の明示          ・成績評価及び単位認定に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり          ○学位授与を適切に行うための措置          ・学位論文審査がある場合、学位論文審査基準の明示・公表          ・学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するための措置          ・学位授与に係る責任体制及び手続の明示          ・適切な学位授与          ・学位授与に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり</p>	14	<p>全学的に見て、学部・研究科における成績評価、単位認定及び学位授与は、どのように行われているか。          ※ その根拠として、下記の実際の状況も確認する。          ・厳正かつ適正な成績評価及び単位認定の実施          ・既修得単位等の適切な認定          ・学位授与における実施手続及び体制の明確性</p>	<p>健康生命薬科学科では、履修便覧に開講科目および履修方法により学士課程修了の要件を明示しており、これら各開講科目ごとに設定された科目目的・到達目標に従い、学習成果の測定に基づき、シラバスに示された評価方法に従い単位認定がされている。履修便覧には、卒業の要件、卒業要件の審査項目を明示しており、これに基づき適切に卒業認定(学士の学位授与)が行われている。既習単位については、教務委員によりシラバスの照会を科目担当者や共通教育担当部署に行った上で学科会議に諮るなどして適切に処理している。総括的評価に匹敵する卒業論文発表会では、審査基準の明示・公表を行っている。また、優秀は発表は顕彰している。</p>	<p>総括的評価に匹敵する卒業論文発表会、ならびにその前提となる卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱについて、ルーブリック評価を完成させ開示する(予定)。</p>	令和3年度末(予定)

⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	<p>○各学位課程の分野の特性に応じた学習成果を測定するための指標の適切な設定(特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)</p> <p>○学位授与方針に明示した学生の学習成果を把握及び評価するための方法の開発</p> <p>《学習成果の測定方法例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント・テスト</li> <li>・ルーブリックを活用した測定</li> <li>・学習成果の測定を目的とした学生調査</li> <li>・卒業生、就職先への意見聴取</li> </ul> <p>○学習成果の把握及び評価の取り組みに対する全学内部質保証推進組織等の関わり</p>	16	<p>全学的に見て、学位授与方針に示した学生の学習成果は、どのような方法で測定されているか。</p> <p>※その根拠として、下記の実際状況も確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野の性質、学生に求める学習成果の内容に応じた把握・評価の方法や指標の導入と運用</li> <li>・当該職業を担うのに必要な能力の修得状況の把握(特に専門的な職業との関連性が強い教育課程の場合)</li> </ul>	<p>健康生命薬科学科では、履修便覧に開講科目および履修方法により修了の要件を明示しており、これら各開講科目ごとに設定された科目目的・到達目標に従い、学習成果の測定に基づき、シラバスに示された評価方法に従い単位認定がされている。履修便覧には、卒業の要件を明示しており、これに基づき適切に卒業認定(学士の学位授与)が行われている。また、総括的な評価となる卒業論文発表会では、上記の通り、講師以上の学科教員が全員出席した上で成果発表を口頭・示説で実施し、評価している。その基準も公開している。</p>	<p>上記と関連して、総括的評価に匹敵する卒業論文発表会にはその前提となる科目として卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱが配当されている。これについては、ルーブリック評価を完成させ開示する(令和3年度末の予定)。卒業時のアンケートはできていないが、卒業生やその就職先への意見聴取などはCOVID-19の影響もあり実施出来ていない。また、学習成果の把握及び評価の取り組みに対する全学内部質保証推進組織として連携し、有機的つながりとして機能しているところまでは至っていない。今後、点検、改善を予定している。</p>	令和4年度
⑦	<p>教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。</p> <p>また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p>	<p>○適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価</p> <p>・学習成果の測定結果の適切な活用</p> <p>○点検・評価結果に基づく改善・向上</p>	18	<p>教育課程及びその内容、方法の自己点検・評価は、どのように行われているか(基準、体制、方法、プロセス等)。</p>	<p>健康生命薬科学科では、カリキュラム検討委員会、学部自己評価委員会の他に、運営会議、学科会議を設置し、学部・学科教育における教育・研究に関する様々な事項についての検討を定期的(委員会によっては月2回開催)に行っている。これらの検討結果により平成31年度入学生より改定カリキュラムによる履修が開始されている。</p>	<p>平成31年度に開始した教育課程が適正、適切なものであるのか検討を開始している。再度の教育課程の見直しに向けて検討を重ねている。</p>	令和4年度末(予定)
			19	<p>上記の自己点検・評価結果に基づき、教育課程及びその内容、方法の改善・向上に向けた取り組みは、どのように行われているか。</p>	<p>健康生命薬科学科では、学科会議メンバーならびに運営会議、あるいは自己評価委員会、さらには学生組織である幹事懇談会や卒業学年からのフィードバックを受けて、カリキュラム検討委員会が毎月、開催されている。これらに、学部入試・広報センター、学部国際交流委員会、学外連携支援部門の各組織と連携し、予算も考慮しながら健康生命薬科学科の改善・向上に向けた取り組みを不断に実施している。</p>	<p>今後、この自己点検・評価結果に基づき、教育課程及びその内容、方法の改善・向上に向け検討を行う(予定)。</p>	令和4年度
			20	<p>上記において、学習成果の測定結果は、教育課程及びその内容、方法の改善にどのように活用されているか。</p>	<p>健康生命薬科学科では、自己評価委員会からのフィードバックを受けて、カリキュラム検討委員会、運営会議において、学習成果の測定結果に基づき、学位授与の方針、履修便覧、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針、カリキュラムツリー、カリキュラムマップ、履修便覧などの見直しを不断に行っている。</p>	<p>自己点検評価に基づき学位授与の方針、履修便覧、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針、カリキュラムツリー、カリキュラムマップ、履修便覧などの見直しを行う(予定)。</p>	令和4年度